

相模

第515号
平成31年1月1日

方除
寒川神社

相模國一之宮

はじまりは
ここから

初詣

平成三十一年己亥歳



象印

SAMURAI

17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	6	4	2
「日本の美しい伝統文化の継承」公演のお知らせ	病院だより・神社の素朴なぎもん	授与品図鑑	八方除解説	寒川俳壇・相模詠草・人事	利根宮司神職身分特級昇進を祝う会	青少年だより	平成30年篤志奉納者芳名 第51回菊花展・写真展入賞者芳名	新嘗祭奉納者芳名	迎春神話ねぶたご紹介	社頭動静	特集 年年祭歳	平成31年 年頭のご挨拶
					開催						奉祝 天皇陛下御即位三十年	天長祭



【神苑に春の訪れを告げる白梅】
※例年3月上旬が見頃です。

開苑10周年
かん たけ やま しん えん
神 嶽 山 神 苑
3月1日(金)より開苑予定

春の息吹を感じる神苑で大神さまとのお神縁を深めましょう

神苑内では

茶屋「和楽亭」にて抹茶と和菓子をお楽しみいただけます。(500円より思召し)
石舞台にて神楽舞と雅楽の奉奏を開催いたします。期日は決まり次第、神社ホームページへ掲示します。

節分祭のご案内

立春の前日である2月3日(日)、邪気災厄を祓い開運招福を願う「節分祭」が斎行され、古式に則り、追儺神事が執り行われた後、特設櫓上より豆撒きを行います。

この神事に奉仕される年男・年女の皆様を下記により募集致します。

(要 項)

- 日 時 2月3日(日)
午前11時 (町内在住の方)
午後2時 (町外在住の方)
- 初穂料 金1万円
- 申 込 神社窓口へ直接お申込みください
- 〆 切 1月25日(金)



高座氏子総代会主催 第43回伊勢参宮旅行のご案内

毎年多くの氏子崇敬者のご参加をいただき実施しております伊勢参宮旅行は本年度43回目を迎えます。

清き川の流れと、緑深き静寂の森。「日本人の心のふるさと」伊勢の神宮で、その荘厳な空気を五感で体験してみませんか?

本年は伊勢の神宮の他、多度大社(三重県)と諏訪大社(長野県)をお参りします。

皆様お誘い合わせの上、ご参加ください。



(要 項)

- 日 時 3月3日(日)~3月5日(火)
- 募集定員 120名
- 参加費 48,000円
(交通費・宿泊費・食事代・神宮神楽料含む)
※宿泊の同部屋希望は追加料金あり
- 〆 切 1月30日(水) ※定員に達し次第〆切

お申込み・お問合せ 寒川神社総務課 ☎0467(75)0004(代)

祭典と行事のご案内

	2月	3月	8月	3月	2月	1月
	11日	3日	8日	3日	2日	1日
	10時	11時	10時	8時	20時	0時
		14時			6時	
	紀元祭並顕彰奉告祭	節分祭	武佐弓祭	元始祭	追儺祭	歳旦祭
	顕彰式					引続き元旦祈禱祭
						末社歳旦祭
						伊集院直彦大人命
						他命等の慰霊祭
						春季霊祭並合祀祭
						末社御祖神社
						13時
						14時
						宮山役員改選奉告祭
						毎月 1日・20日 8時30分 月次祭
						(1月1日除く)
						3月 21日 10時 祈年祭並田打舞神事
						17日 安藤由勝大人命



平成31年 年頭のご挨拶

宮司 利根 康教

平成31己亥歳つひのとしの新春を迎え、謹んで聖寿の万歳と御皇室の弥栄を言

學院大學のマーケティングバンドによる奉祝パレード、東儀秀樹氏によるコ

れているほど「若者の神社離れ」は進んでいないように感じるところで

我が国と、その文化の担い手の一つでもある「神社」が国内外から注

を衷心より祈念申し上げます。 畏くも今上陛下におかせられまし

など、一年を通じて氏子崇敬者の皆様とともに、天皇陛下への感謝の誠

また、「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」を2年後に控え、

「天皇陛下からの預かりもの」ともいわれていることはご承知の通り

お迎えになりましたことは、誠に御目出度く慶賀に堪えませぬ。天皇

さて昨今、特に若い女性を中心にいわゆる「御朱印ブーム」に火がつ

線とは、「神社」に対する注目度の高さを表われといっても過言ではな

御参拝の皆様には、今後ともお力添えを賜わりたく、変わらぬ御崇敬

をお過ごしいただき、御皇室の御安泰を心より御祈念申し上げます。

当社では、一昨年12月、彬子女王陛下の御台臨を仰ぎ挙行されまし

日本各地の社寺を訪れ、その素晴らしさを日本文化の代表格として世界

無辺な八方除の御神徳を余すことなくお受けになられまして、幸多き輝

記念事業を実施してまいりました。 國府祭における本神輿の渡御、浜降

の一方で、非常に有難いことであり、御社頭の様子を窺う限り、報道等で騒が

に拡散される、そういった時代を迎えてはいます。

とを祈念申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

頌春

宗教法人寒川神社

- 代表役員 宮司 利根 康教
責任役員 入澤 一三
中島 啓介
前田 隆一
松本 學
顧問 小川 亮
山田 文夫
藤田 貞夫
田中 賢三
木村 俊雄
参与 高橋 春吉
金子 昭
横溝 隆義
市川 元久

Table with 2 columns: 名譽宮司 (Honorary Priest) and 權宜司 (Authorized Priest). Includes names like 多田 根代, 石腰 康宏, 大西 義行.

Table with 3 columns: 巫 (Witch), 参事 (Participant), 主事 (Main Participant). Includes names like 佐藤 真帆, 岡野 紗那, 鈴木 奈々.

Table with 2 columns: 嘱託 (Designated) and 寒川神社 参集殿 (Guest List). Includes names like 戸村 正幸, 足立 和也, 瀧本 満夫.

Table with 2 columns: 検査主任 (Inspector) and 検査技師 (Inspector). Includes names like 小関 利子, 高橋 直枝, 高橋 直枝.

Table with 2 columns: 管理職 (Management) and 放射線技師 (Radiation Technologist). Includes names like 松本 由美, 池田 志, 池田 志.

Table with 2 columns: 介護科主任 (Nursing Director) and 介護職員 (Nursing Staff). Includes names like 伊藤 美穂, 伊藤 美穂.



奉祝 天皇陛下御即位三十年 てんちようさい 天長祭

天長節と地久節

毎年、天皇誕生日には伊勢の神宮をはじめ、全国各地の神社で天長祭が斎行されます。時を同じくして、皇居内では祝賀の儀・宴会の儀・茶会の儀・一般参賀が行われ、さらに海上自衛隊では、基地・一般港湾等に停泊している自衛艦において満艦飾が行われるなど、日本中で天皇陛下の御生誕をお祝いする奉祝行事が行われます。

今日では国民の祝日として齊しくお祝い申し上げている「天皇誕生日」ですが、昭和23年までは「天長節」と呼ばれていました。その名称の起源は中国の唐の時代、天宝7(七四八)年にさかのぼり、玄宗皇帝の誕生日を天長節として祝ったことに由来しているといわれています。これは老子の「天長地久」の語に基づいて創始されたもので、「天地が永久に変わらず存在するように、天子の寿命の限りないことを願う」という意味が込められています。

我が国では、宝亀6(七七五)年に初めて光仁天皇が自らの誕生日を祝したとされ、時代は流れ明治元(一八六八)年には古代の例に倣って復活し、明治6(一八七三)年には太陽暦の採用にあわせ「天長節」として正式に国家の祝日と規定されました。

以降、1月1日の「四方節(元日)」、

2月11日の「紀元節(現建国記念の日)」、11月3日の「明治節(現文化の日)」とあわせた「四大節」の一つとして「天長節」は日本各地で盛大に奉祝されてきました。しかしながら、昭和23(一九四八)年、大東亜戦争終戦後には「国民の祝日に関する法律(祝日法)」の制定により、天長節は現在の「天皇誕生日」へと改称されました。

なお、国の祝祭日として勅令で定められることはなかったものの、大東亜戦争終戦までは皇后陛下の御誕生日をお祝い申し上げる日として「地久節」がありました。天皇陛下の御生誕をお祝いする「天長節」の対となる日で、一部の女学校などでは休日としてお祝いされてきました。

御即位三十年目の天長祭

本年は、天皇陛下御即位三十年を奉祝して、拝殿内に「慶祝 天長祭」の垂幕を掲示、あわせて紅白の胡蝶蘭を献備して、祭典を斎行しました。祭典に先立ち、雅楽の伴奏により宮司以下祭員・参列者全員で国歌「君が代」を斉唱、祭典内では例年通り「人長舞」が厳かに奉奏され、天皇陛下の御生誕をお祝い申し上げるとともに、感謝の誠を捧げることができ

ました。

祭典終了後、参道の東側にて天皇陛下御即位三十年奉祝記念植樹式が行われ、ヤマザクラと赤松が植樹されました。

また参集殿では、当神社の職員であり、元内掌典の西井可奈権禰宜による「宮中三殿(賢所・皇霊殿・神殿の総称)や「宮中祭祀」についての記念講演が行われました。宮中には国家行政機関としての宮内庁の組織とは別に、掌典職とよばれる内廷の組織があり、皇室の祭祀をつかさどっています。掌典長の統括の下に掌典次長・掌典・内掌典などが置かれています。

また宮中では年間20ほどの祭儀が執り行われており、天皇皇后両陛下は、宮中の祭祀を大切に受け継がれ常に国民の幸せをお祈りされています。掌典職は宮中祭祀に従事し、伊勢の神宮や勅祭社における祭典では、天皇陛下の使者である「勅使」をつとめます。

女性が就任する官職の内掌典として、天皇皇后両陛下のお側近くで御奉仕をした経験に基づく講演は非常に興味深く、いかなるときも国民とともにあらせられる天皇皇后両陛下の御心を胸に刻むことができ、天皇陛下御即位三十年を奉祝するに相応しい一日となりました。

今上陛下の御誕生日である12月23日に、天長祭が厳粛に斎行され、多くの参列者とともにこの佳節をお祝いし、皇室の御安泰を心より祈念致しました。本年は天皇陛下御即位三十年を奉祝して、拝殿内に「慶祝 天長祭」の垂幕を掲示、祭典終了後には境内にて記念植樹を行い、参集殿にて記念講演を行うなど、例年とは趣の異なる内容となりました。



人長舞



記念植樹



記念講演

寒川さんの

鈴の音

※鈴の音を「祈り」の象徴ととらえ、当神社の折々の出来事をその音に乗せて皆様にお伝えするという意味を込めました。

神嘗奉祝祭

伊 勢の神宮において斎行される年間一五〇〇にも及ぶ祭典の中で、最も重儀とされるのが「神嘗祭」です。その年に収穫された新穀を天照大御神に捧げ、その恵みに感謝する祭典で、神宮では、この祭典にあわせ御装束・祭器具が一新されます。

20年に一度斎行される「式年遷宮」は大規模な神嘗祭であるとも考えられ、式年遷宮後、最初の神嘗祭を特に「大神嘗祭」ともいいます。

10月17日には皇大神宮（内宮）において、天皇陛下が遣わされた勅使により奉幣が行われ、同日天皇陛下には皇居神嘉殿にて皇大神宮を御遥拝になります。

このような、日本人の生活の根源ともいえる重要な祭典が斎行される当日に、当神社でも神嘗奉祝祭を斎行し、神宮を遥拝致しました。

御祖神社竣工並御祖講設立二十周年奉告祭

当 神社周辺では、地域住民が中心となり霊社講を結成し、明治2年に宮山祖霊社が創設されました。長い年月を経て、平成10年10月には寒川神社末社として御祖神社が竣工され、講の名称も「寒川神社御祖講」と改められました。

御祖神社は現在、神嶽山神苑内に鎮座し、毎月の月次祭のほか、春と秋には霊祭が斎行されています。本年は御祖神社竣工・御祖講設立20年の節目を迎え、9月16日に「白梅」の記念植樹が行われ、10月21日には奉告祭・記念式典が盛大に開催されました。



神宮大麻暦頒布始奉告祭

神 奈川県神社庁相模湘南支部の神宮大麻暦頒布始奉告祭が管内神社宮司参列のもと11月14日に斎行されました。

神宮大麻は天照大御神の神札のことをいい、新たな年も健やかに生活が営めるよう氏神様の神札と共に神棚にお祀りするお札です。新しい神宮大麻をお受けいただき、清々しい新年をお迎えください。

新嘗祭

秋 祭りとも呼ばれる「三大祭」の一つ、新嘗祭が役員・総代・氏子崇敬者多数参列のもと厳粛に斎行されました。この祭典は、秋の豊かな稔りに感謝申し上げる祭典で、近隣の生産者より丹精込めて作られた新米・野菜・果物などさまざまなものが所せましと御神前に奉納（奉納者の御芳名は9ページに記載）されました。

新嘗祭にあわせて開催致しました菊花・写真展では、30点を超える色とりどりの菊花とともに、神社の四季の風景を色彩豊かに撮影いただいた120点の写真が境内を飾りました。

第37回平和祈念使節団

昨年は、8月の記録的猛暑に加え10月には大型の台風が関東地方を直撃するなど、農作物や菊には非常に過酷な天候となりました。しかし、そんな天候をものともせず、田は黄金色に輝き、豊かな実りの秋を迎えることができました。

祭典終了後には、参集殿において年間の篤志奉納者と第51回菊花展・写真展に入賞された方々（御芳名は10・11ページに記載）の表彰を行いました。

昨 年12月7日、アメリカ合衆国ハワイ州パールハーバーにてアメリカ合衆国海兵隊主催の平和を祈る記念式典が開催され、世界連邦日本宗教委員会ハワイ平和祈念使節団の一員として、会長である神社本庁・田中恆清総長をはじめ日本各地のさまざまな宗教関係者約70名と共に当神社の利根宮司が出席致しました。

今回で37回目を迎えた委員会のパールハーバー訪問は、昭和57年より毎年恒例の慰霊行事として実施されているもので、今回も米軍基地内に設けられた記念碑前での慰霊や現

祭典・行事のご報告

- 10月
 - 1日 職員防災訓練
 - 6日 相模国式内社の会総会
 - 7日 末社宮山神社神幸祭
 - 第3回相模塾
 - 15日 人形感謝祭
 - 17日 神嘗奉祝祭
 - 21日 御祖神社竣工並御祖講設立二十周年奉告祭 記念式典
 - 26日 利根康教宮司 神職身分特級昇進を祝う会
- 11月
 - 3日 明治祭
 - 10・25日 第51回菊花・写真展
 - 13・14日 相模湘南支部教養研修会
 - 14日 相模湘南支部 神宮大麻暦頒布始奉告祭
 - 22日 独身寮改修工事竣工清祓
 - 23日 新嘗祭
 - 外庭手水舎工事清祓
- 12月
 - 1日 宮山神輿愛好会 奉納米献上神宮参拝
 - 4・9日 世界連邦日本宗教委員会 ウィー平和祈念使節団参加
 - 14日 煤拂祭
 - 16日 第4回相模塾
 - 19日 外庭手水舎工事竣工清祓
 - 20日 迎春神話ねぶた設置
 - 23日 天皇祭
 - 天皇陛下御即位三十年奉祝 記念植樹式
 - 31日 師走大祓式並除夜祭 神徳感謝祭

地の神社参拝など殊のほか貴重な経験を通じて「今ある当たり前の平和」について改めて考える機会となりました。

第4回相模塾

この講座が12月16日に開催されました。今回のテーマは「祭作法」。最近では、テレビ等で神社の特集が放送されることも多く、参拝方法等の紹介もされていますが、神社での作法にはさまざまな決まりがあり、立ち方や礼の角度に至るまで詳細に決められていることはあまり知られていません。そこで今回、塾生の皆様には、普段の神社参拝でも頻度の高い作法である「二礼二拍手一礼（再拝二拍手一拝）」と「玉串拝礼」を中心に、

当神社の神職2名（神奈川県神社庁祭式助教）の指導の下、実際に身体を動かして実践的な講座を受けていただきました。

祭作法の中には、身体の筋が痛くなってしまう動きもあり、塾生の皆様には真冬にもかかわらず、うっすらと汗をかきながらも真剣な面持ちで受講され、講座開始前とは見違えるような拝礼作法を習得いただけようでした。



【写真】 ①新嘗祭「参進」 ②第37回平和祈念使節団 ③神宮大麻暦頒布始奉告祭 ④相模塾 ⑤神嘗奉祝祭「献饌」

毎月1日・20日 月次祭



平成30年 新嘗祭奉納者芳名

小菅隆志	小菅弘高	小菅昭義	(株)晃和ディスプレイ	(株)工房えむま	熊澤酒造	栗田隆	栗田登	栗田雄	木内幹雄	キリンパシ(株)湘南工場	金子誠	金子秀夫	金子幸一	金子悦夫	金子昌裕	金子菊治	金子昭	金子	金子	(株)アサヒファーマシー	青木青葉	相田弥市
------	------	------	-------------	----------	------	-----	-----	-----	------	--------------	-----	------	------	------	------	------	-----	----	----	--------------	------	------

皆川憲治	水谷利稔	三谷男	外水勝丸	萬丸蔵	(株)丸紙店	松本隆一	前田第一	豊岡堂	船岡澄栄	(株)藤井喜代治	樋口哲也	芳賀徹雄	根岸農園	日本精農	中島啓介	中沢運輸	露木生花	茅ヶ崎市漁業協同組合	龍崎山庸道	高橋昭夫	大黒屋	(株)関根シゲ子	井出洋らん園	入澤一三	大川哲平	(株)カナナリヤ	(株)カネヤ商会	(株)アサヒファーマシー	青木青葉	相田弥市
------	------	-----	------	-----	--------	------	------	-----	------	----------	------	------	------	------	------	------	------	------------	-------	------	-----	----------	--------	------	------	----------	----------	--------------	------	------

石塚雄司	市川一	市川澄雄	市川明雄	市川雄一	市川美雄	市川正雄	市川久雄	市川忠雄	市川鉄雄	市川良行	市川清助	市川喜代治	市川高明	市川裕之	市川啓一	阿諷訪	安藤茂雄	天利雄	青木昇	青木市	相原久孝	相田善孝	相田一	小嶋信男	小嶋章一	小嶋正一	小嶋好一	小嶋治一	小嶋雄一	小嶋明一	小嶋勝一	小嶋隆一	小嶋義一	小嶋俊一	小嶋進一	小嶋志一	小嶋男一	小嶋彦一	小嶋隆一	小嶋正一	小嶋繁一	小嶋泉一	小嶋千一	小嶋繁一	小嶋正一	小嶋知一	小嶋隆一	小嶋登一	小嶋馨一	小嶋稔一	小嶋次一	小嶋夫一	小嶋孝一	小嶋茂一	北村工務店
------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	-----	------	-----	-----	-----	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------

鈴木敏之	杉山直弘	杉山直明	杉山保行	杉山孝行	下里二	(株)さんこうどう	佐藤幸雄	佐藤朝一	佐藤好宏	佐藤昭勝	佐藤勝	佐藤勝	佐藤勝	佐藤勝	佐藤勝	さかみ農業協同組合	さかみ農業協同組合	さかみ農業協同組合	さかみ農業協同組合	さかみ農業協同組合	委員長鈴木 潔	寒川地区運営委員会	さがみ農業協同組合	代表理事組合長	さがみ農業協同組合	齋藤寛一	齋藤博一	齋藤雅一	後藤昭一	小菅昭一	小菅隆一	小菅義一	小菅志一	小菅男一	小菅彦一	小菅隆一	小菅正一	小菅繁一	小菅泉一	小菅千一	小菅繁一	小菅正一	小菅知一	小菅隆一	小菅登一	小菅馨一	小菅稔一	小嶋次一	小嶋夫一	小嶋孝一	小嶋茂一	北村工務店
------	------	------	------	------	-----	-----------	------	------	------	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	---------	-----------	-----------	---------	-----------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------

皆川正亮	皆川一	皆川三	皆川五	皆川七	皆川九	皆川十一	皆川十三	皆川十五	皆川十七	皆川十九	皆川二十一	皆川二十三	皆川二十五	皆川二十七	皆川二十九	皆川三十一	皆川三十三	皆川三十五	皆川三十七	皆川三十九	皆川四十一	皆川四十三	皆川四十五	皆川四十七	皆川四十九	皆川五十一	皆川五十三	皆川五十五	皆川五十七	皆川五十九	皆川六十一	皆川六十三	皆川六十五	皆川六十七	皆川六十九	皆川七十一	皆川七十三	皆川七十五	皆川七十七	皆川七十九	皆川八十一	皆川八十三	皆川八十五	皆川八十七	皆川八十九	皆川九十一	皆川九十三	皆川九十五	皆川九十七	皆川九十九	皆川一百一	皆川一百三	皆川一百五	皆川一百七	皆川一百九	皆川二百一	皆川二百三	皆川二百五	皆川二百七	皆川二百九	皆川三百一	皆川三百三	皆川三百五	皆川三百七	皆川三百九	皆川四百一	皆川四百三	皆川四百五	皆川四百七	皆川四百九	皆川五百一	皆川五百三	皆川五百五	皆川五百七	皆川五百九	皆川六百一	皆川六百三	皆川六百五	皆川六百七	皆川六百九	皆川七百一	皆川七百三	皆川七百五	皆川七百七	皆川七百九	皆川八百一	皆川八百三	皆川八百五	皆川八百七	皆川八百九	皆川九百一	皆川九百三	皆川九百五	皆川九百七	皆川九百九	皆川一千一	皆川一千三	皆川一千五	皆川一千七	皆川一千九	皆川二千一	皆川二千三	皆川二千五	皆川二千七	皆川二千九	皆川三千一	皆川三千三	皆川三千五	皆川三千七	皆川三千九	皆川四千一	皆川四千三	皆川四千五	皆川四千七	皆川四千九	皆川五千一	皆川五千三	皆川五千五	皆川五千七	皆川五千九	皆川六千一	皆川六千三	皆川六千五	皆川六千七	皆川六千九	皆川七千一	皆川七千三	皆川七千五	皆川七千七	皆川七千九	皆川八千一	皆川八千三	皆川八千五	皆川八千七	皆川八千九	皆川九千一	皆川九千三	皆川九千五	皆川九千七	皆川九千九	皆川一萬一	皆川一萬三	皆川一萬五	皆川一萬七	皆川一萬九	皆川二萬一	皆川二萬三	皆川二萬五	皆川二萬七	皆川二萬九	皆川三萬一	皆川三萬三	皆川三萬五	皆川三萬七	皆川三萬九	皆川四萬一	皆川四萬三	皆川四萬五	皆川四萬七	皆川四萬九	皆川五萬一	皆川五萬三	皆川五萬五	皆川五萬七	皆川五萬九	皆川六萬一	皆川六萬三	皆川六萬五	皆川六萬七	皆川六萬九	皆川七萬一	皆川七萬三	皆川七萬五	皆川七萬七	皆川七萬九	皆川八萬一	皆川八萬三	皆川八萬五	皆川八萬七	皆川八萬九	皆川九萬一	皆川九萬三	皆川九萬五	皆川九萬七	皆川九萬九	皆川十萬一
------	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------



平成31己亥歳 「天孫降臨」 迎春神話ねぶた 1月1日午前0時から2月3日までの夜間(日没~22時)点灯 ※三が日は終夜点灯

あらすじ
オオクニヌシの国譲りを受け、天照大御神は孫にあたるニギノミコトに、二種の神器である「八咫鏡」「八咫瓊勾玉」「草薙剣」を授け、豊葦原瑞穗国（日本）を高天原のように素晴らしい国にするため、天降るよう命じた。早速ニギノミコトは高天原の天津神を伴って天降ろうとするが、そこには怪しい光を放つ神様がいらつしやつた。その神様はサルタヒコといい、ニギノミコトをお迎えにきたとのことであった。
そして、ニギノミコトはサルタヒコに先導され、幾重にも重なった雲を押し分け、日向の五千穂の地に天降られた。
この神話ではニギノミコトは天照大御神よりいくつかのお言葉（神勅）を受け天降られたとされている。そのお言葉は大きく3つあり、これを全て合わせて「三大神勅」という。一つ目が「天壤無窮の神勅」といわれ、「日本の国は私の子孫が王となるべき地である。皇孫であるあなたが行ってしっかりと治めよ。皇室が栄えることは、天地がある限り永遠である」というお言葉である。二つ目は「宝鏡奉斎の神勅」といわれ、八咫鏡をお授けになった上で「この鏡を私の魂だと思って、大切にお祀りしなさい」というもの。三つ目は「斎庭の稲穂の神勅」といわれ、「天上界で育てている稲を地上でも育て、地上の国も天上界と同じように豊かな安定した国にしなさい」という教えであり、日本の稲作文化の根元ともいえる。

奉灯協賛者芳名
東映通信工業(株)/(株)東映マンション/一政水産(株)/横浜貨物総合(株) 大塚美容形成外科/柴崎 徹・柴崎久恵/(有)ミツワ企画 日本ロードマーク(株)/橋嶋幸司・間野隆司/森川栄介 (株)竹中工務店横浜支店/ 柏川昌和/(医)芳晴会愛児レディースクリニック (株)長谷川製作所/(有)及川工業/(有)今井 (株)丸井紙店/(株)秋江/(株)阿部 (株)晃和ディスプレイ/(株)北岡本店/(株)豊榮金属/阿部和彦/田中雄二 (株)THコーポレーション/(株)テクノス三和/(株)タカトプランナー 石窯ガーデンテラス/(株)ジェイコム湘南/匿名 (順不同・敬称略)



ねぶた師 北村 蓮明
昭和23年…青森市に生まれる
昭和33年…町内ねぶたを作り始める
昭和37年…師匠 北川啓三に弟子入り
昭和40年…兄弟三人で初めて大型ねぶたを制作
以後、小型ねぶたの制作に専念し修行
昭和53年…兄と共に大型ねぶたの制作を再開
以後、二人三脚で数多くのねぶたを制作
平成10年…独立
現在…大型3台制作
平成26年より寒川神社のねぶたを制作

受賞歴
平成21・25・27年
ねぶた大賞 (最優秀賞)
その他 数々の賞を受賞

正月の風物詩として定着してまいりました当神社のねぶたも、お蔭様にて19回目を迎えることとなりました。今回は記紀神話より「天孫降臨」の話をモチーフにしました。日本を豊かな国にするために天照大御神より神勅を受けたニギノミコトが、サルタヒコの導きによって天降ろうとしている様子が描かれています。
歴代の天皇陛下におかせられましては、皇居内の神田にて田植えや稲刈りを御自ら行われるなど天孫降臨の際の教えを守り、さらにそれを広めるという使命を果たされ続けてこられました。
御代替りを5月に控え、11月には大嘗祭（天皇陛下即位後最初の新嘗祭）が斎行されます。そのような国家的な慶事を前に、改めて天皇陛下に感謝の誠を捧げるという意味を込めて製作致しました。

平成30年篤志奉納者芳名 (順不同・敬称略)

浄財 安西 希子
 浄財 池田 茂子
 浄財 中島 康晃

第51回 菊花展入賞者 (敬称略)

審査長 遠藤 吉和
 副審査長 高橋 正夫

細管の部 小室 久次



厚物の部 関場 清



小林 和夫(大和市) 齋藤 進(大和市)
 齊藤 征一(大和市) 竹内 進(大和市)
 梶沢 希子(大和市) 藤井 和子(大和市)
 荒井 秀三(厚木市) 三橋 重夫(厚木市)
 秋山 益男(厚木市) 松野 寛厚(厚木市)
 西山 守夫(厚木市) 大貫 久男(厚木市)
 大貫 昭司(厚木市) 大貫 明厚(厚木市)
 南條 隆(厚木市) 鈴木 良雄(厚木市)
 奥津 国勝(座間市) 根上 友義(座間市)
 山川 孝雄(座間市) 小林 一三(座間市)
 小澤 英男(座間市) 藤森 昇(座間市)
 鈴木喜一郎(座間市) 荒田 洋司(伊勢原市)
 佐藤 俊昭(伊勢原市) 小澤 厚子(伊勢原市)
 森井 渡(伊勢原市) 倉持 武(伊勢原市)
 中村 清(伊勢原市) 能條 節子(伊勢原市)
 平川 光則(伊勢原市)

第51回 写真展入賞者 (敬称略)

審査長 丹治 俊雄

宮司賞 大坪 政文



「夏越の祓」

松原 不二男
 小室 久次
 須藤 規安
 羽田 友明
 友明/大出 進

厚物の部 米山 晃
 岡 照男
 三橋 太一
 秋山 美好
 三橋 太一
 今井 康子
 筧間 潔
 池田 哲男
 屋城善二郎
 原 則夫
 大貫 明
 関場 清
 清/岡 照男
 萩 俊一
 岩本 茂
 大貫 久男
 吉田 茂雄
 後藤 勤
 三橋 重夫
 萩 俊一
 土屋 和民
 鈴木 良雄
 寛/山田 豊

金賞 米山 晃
 銀賞 岡 照男
 銅賞 三橋 太一
 さがみ農協 寒川地区賞
 寒川ロータリークラブ会長賞
 寒川ライオンズクラブ会長賞
 横浜銀行茅ヶ崎支店賞
 三井住友銀行湘南法人営業部賞
 三昭グループ中華一番/嵐坊賞
 読広エリア・アド賞
 熊澤酒造賞
 ニッポン放送賞
 FM横浜賞
 ジェイコム湘南賞
 テレビ埼玉賞
 FM富士賞
 入選

金賞 米山 晃
 銀賞 内藤 俊雄
 銅賞 梶 俊一
 寒川町議会議員賞
 日本郵便株寒川郵便局長賞
 寒川町商工会賞
 寒川町観光協会賞
 寒川ロータリークラブ会長賞
 寒川ライオンズクラブ会長賞
 横浜銀行寒川支店賞
 三昭ソーリスト賞
 読広エリア・アド賞
 ニッポン放送賞
 テレビ埼玉賞
 FMヨコハマ賞
 NACK5賞
 FM富士賞
 田中写真賞



「してやったり」

神社本庁統理賞 船橋 照貴

金賞 川上 勝正
 銀賞 川口 統
 銅賞 川口 統

寒川町長賞
 寒川町議会議長賞
 寒川町教育長賞
 日本郵便株寒川郵便局長賞
 寒川町商工会賞
 寒川町観光協会賞
 寒川ロータリークラブ会長賞
 寒川ライオンズクラブ会長賞
 横浜銀行寒川支店賞
 三昭ソーリスト賞
 読広エリア・アド賞
 ニッポン放送賞
 テレビ神奈川賞
 ジェイコム湘南賞
 FMヨコハマ賞
 テレビ埼玉賞
 NACK5賞
 FM富士賞
 田中写真賞

青少年だより
 寒川ロータリークラブ
 例会での活動報告



去る11月5日に寒川神社参集殿にて寒川ロータリークラブ例会が行われ、ボーイスカウト寒川第2団と少年館より代表が出席し一年間の活動報告を行いました。
 この活動報告は、健全な青少年育成に対して寒川ロータリークラブより助成金をいただくに際し、御礼の気持ちを込めて毎年行われているもので、報告の後に日頃の努力の成果を披露します。
 今回、代表に選ばれたスカウトは「ロープワーク」を、館生は吟道「富士山」を披露し大きな拍手をいただきました。
 ボーイスカウト寒川第2団と少年館は今後も青少年育成に邁進してまいりますので、変わらぬご支援・ご協力の程お願い申し上げます。



スカウト募集中!
 小学1年生以上の男女
 問合せ…寒川神社少年館

動 静

10月

- 13日 BS寒川第2団神饌田稲刈り (BVS・CS・BS・VS・RS)
- 20日 野外料理 (VS)
- 20-21日 くまスカウト歓送キャンプ&江の島探検 (CS)

11月

- 4日 さむかわまちぐるみ美化運動 (BS)
- 5日 寒川ロータリークラブ例会出席 (BS・少年館)
- 10日 寒川ライオンズクラブ 県道・町道花壇植栽奉仕 (BS)
- 24日 一泊野営訓練並びにパイオニアリング訓練 (VS)
- 25日 親子でフィッシング & クッキング (BVS・CS)

12月

- 2日 文化祭 (少年館)
- 9日 親子で野外料理 (BVS・CS)
- 15日 相模国六社巡りサイクリング並びに神道章伝達式 (VS)
- 16日 月の輪スカウト歓迎ハイク (BS)
- 19日 終業式 (少年館)
- 24日 しめ縄飾り作り (少年館)

銅賞 松原 不二男
 小室 久次
 須藤 規安
 羽田 友明
 友明/大出 進

間管の部 山崎 俊男
 岩本 茂
 屋城善二郎
 水島 春敏
 池田 哲男
 安西 昭夫
 遠藤 朋章
 鴨志田信子
 柿澤 昌明
 松原不二男
 福岡 堅
 木村 哲雄
 今井 康子
 羽田 友明
 小峰 勝子
 宗像 洋/安池 春敏

金賞 山崎 俊男
 銀賞 岩本 茂
 銅賞 屋城善二郎
 さがみ農協寒川地区賞
 寒川町商工会賞
 横浜銀行茅ヶ崎支店賞
 三井住友銀行湘南法人営業部賞
 三昭グループ中華一番/嵐坊賞
 読広エリア・アド賞
 FM横浜賞
 テレビ神奈川賞
 ジェイコム湘南賞
 NACK5賞
 FM富士賞
 入選

金賞 岩本 茂
 銀賞 柿澤 昌明
 銅賞 原 則夫
 日本郵便株寒川郵便局長賞
 三昭グループ中華一番/嵐坊賞
 読広エリア・アド賞
 ジェイコム湘南賞
 NACK5賞
 入選

菅 利/伊藤 政三
 原 則夫

だるまの部 清田 美躬
 阿諏訪 豊
 小峰 勝子
 米山 晃
 清田 美躬
 松野 寛/屋城善二郎
 菅 利/松野 寛

金賞 清田 美躬
 銀賞 阿諏訪 豊
 銅賞 小峰 勝子
 審査長賞
 寒川ライオンズクラブ会長賞
 湘南信用金庫寒川支店賞
 ジェイコム湘南賞
 入選

菊奉納者芳名 (順不同・敬称略)
 小松原郁夫(茅ヶ崎市) 小川 弘(茅ヶ崎市)
 杉本 修(茅ヶ崎市) 石原 達男(茅ヶ崎市)
 増子 喜和(茅ヶ崎市) 増田 栄治(茅ヶ崎市)
 大内喜一郎(茅ヶ崎市) 八田 信義(茅ヶ崎市)
 屋城善二郎(海老名市) 鴨志田信子(海老名市)
 佐藤 誠一(海老名市) 佐藤 和史(海老名市)
 三村 芳弘(海老名市) 小峰 勝子(海老名市)
 池田 哲男(海老名市) 内藤 俊雄(海老名市)
 半谷 昭雄(海老名市) 米山 晃(海老名市)
 高津 有二(海老名市) 大出 進(平塚市)
 藤田 浩(平塚市) 羽田 友明(藤沢市)
 山崎 武(藤沢市) 小相澤賢治(藤沢市)
 柳澤 芳夫(藤沢市) 落合 好文(藤沢市)
 笠間 潔(瀬谷市) 大塚 外雄(瀬谷市)
 田中 博司(瀬谷市) 土屋 和民(瀬谷市)
 藤岡 清久(綾瀬市) 福島 忠志(綾瀬市)
 伊藤 政三(大和市) 沖 君子(大和市)
 沖 敏明(大和市) 関場 清(大和市)
 高橋 恒克(大和市) 狩戸 国義(大和市)

利根宮司 神職身分特級昇進を祝う会 開催



当社利根宮司が、2月3日に本社本庁より功績表彰を受け、神職身分「特級」に昇進致しましたことは、本誌第512号にて既報の通りでございます。この功績表彰は「人格識見共に勝れ、多年に亘り神明に奉仕して神徳を宣揚して神社の施設経営に尽力し、また地方の教化にあたり広く斯道のために多大の貢献をなされた功績」に対して顕彰されたものであります。このことは利根宮司の名誉のみならず、当社社の栄誉、氏子崇敬者の誇りであるといえます。

この慶事に際して、10月26日、当社利根宮司の神職身分特級昇進を祝う会がレゾナントホテル厚木(神奈川県厚木市)にて、本社本庁総長 田中恆清様(京都府・石清水八幡宮宮司)、同長老 寺井種伯様(大阪天満宮名譽宮司)、明治神宮宮司 中島精太郎様、神道政治連盟会長 打田文博様(静岡県・小國神社宮司)をはじめ、全国の神社関係者、旧職員など約350名をお招きし開催されました。

この日は、県神社庁長・県総代会連合会会長・北海道神宮宮司(旧職員)・当社社責任役員の皆様が発起人となり、元「NHKニュース7」お天気キャスターの半井小絵氏の司会により式が進められ、多数の来賓の方よりご祝辞を賜りました。利根宮司の謝辞の後、清興としてソプラノ歌手の雨谷麻世氏により華やかで美しい歌声が披露されました。さらに、小野雅楽会により舞楽「陵王」も披露され、この祝の宴は賑々しくも厳かな中で散会しました。



寒川神社 利根康教宮司 略歴

- 昭和24年3月13日 愛知県知多郡南知多町篠島に生まれる
- 47年3月 國學院大學文学部神道学科 卒業 明階を拝受
- 寒川神社 奉職
- 寒川神社 権禰宜
- 日本ボイスカウト寒川第2団ボーイ隊長
- 平成6年9月 神職身分二級
- 8年7月 日本ボイスカウト寒川第2団団委員長
- 10年12月 寒川神社 禰宜
- 15年4月 神奈川県神社庁協議員
- 19年4月 本社本庁表彰規程第3条第2号により表彰を拝受
- 20年10月 神奈川県神社庁相模湘南支部支部長
- 21年3月 神職身分二級上
- 22年2月 伊勢神宮崇敬会評議員/神宮評議員
- 22年12月 神奈川県神社庁責任役員
- 24年3月 寒川神社 宮司代務者/寒川神社 少年館館長
- 24年7月 日本ボイスカウト寒川第2団育成会長
- 25年3月 ガールスカウト日本連盟神奈川県第45団育成会長
- 27年2月 儀礼文化学会評議員/学校法人皇學館協議員
- 28年6月 学校法人國學院大學協議員
- 29年7月 全国神社スカウト協議会参与
- 30年2月 寒川神社宮司
- 30年7月 本社本庁参与
- 30年8月 神奈川県神社庁協議員
- 30年9月 神道政治連盟神奈川県本部副本部長
- 30年10月 浄階を拝受 神職身分一級
- 30年11月 神奈川県神社庁副庁長
- 30年12月 神奈川県神社総代会連合会副会長
- 31年1月 本社本庁表彰規程第2条第1号により表彰を拝受
- 31年2月 神道政治連盟監査委員
- 31年3月 全国一の宮会副会長
- 31年4月 全国神社スカウト協議会顧問
- 31年5月 本社本庁表彰規程第2条第2号により表彰を拝受
- 31年6月 神職身分特級

寒川俳壇

地下足袋の十枚鞋や冬めける
動く霧動かぬ霧や人の声
さざれ石もちあげてをり霜柱
筏師の巧みな業や川小春
体操の園児は裸返り花
指をさし確かに居たと霧の中
節くれの指をほぐすや今朝の冬
一杯は女将の奢り今年酒
霜晴の一山燃える葛楓
霜白し女の任務よ水仕事
子の電話待つ夜の長し霜の声
着膨れて角の取れたる親父かな
霜柱蹴散らし遊ぶ小学生
いつもの道ふと振り返る冬めきて
冬めくやなかなか開かぬレジ袋
朝霧に立て掛けてある竹箒
小春日や山河変らぬ過疎の村
秋天や移動八百屋の拡声器
ガス灯の点り冬めく港町
実の赤くなりて楽しむななかまど
惚れと惚け同じ漢字や文化の日
茹で玉子塩にこだはり冬に入る

金指 月光
石原美枝子
露木てる子
根岸 君子
金子 つち
吉田 和美
竹村真砂美
菅沼うめの
原野 楽天
飛石 権花
宮入 つる
岩田美代子
松村 信良
白井 美雪
菅沼 保幸
伊藤 公一
倉谷 節子
猿渡 弥生
芹澤 徳光
四ツ車梢月
松本美智子
加賀 莊介

相模詠草

友禊菊の小さき蕾つつましく照葉のかげに一輪の咲く
耳裂ける轟音続く沖繩に住む人々の焦燥を思う
わが庭の垣根に絡むクレマチス秋咲きの一つ微みており
大山へ紅葉目ざし友と三人阿夫利神社まで階段登る
黄金に光る稲田を囲みつつ彼岸花の赤く緑取る
となりより秋刀魚の焼ける匂いする七輪に焼きたるも今は懐かし
台風は無残に花を散り落とし金木犀の香りなき秋
姉はいつも四人姉妹の頂上で成績優秀また健康も
木漏れ日のゆるる日差しも柔かく秋は来たれり秋は来たれり
寺の鐘境内に響き厳かに新郎新婦入堂さるる(興全寺副住職)
土地の名は寒川なれど住む人の心根なべて暖かにして
来る年は元気に活躍願いつつ残りの日々は健康志向う
元朝の大空見上げつ平成とふ年号改まるを供に寿ぐ
マラソンの子等の頬そめ晩秋の冷たき風は野を吹き抜けてゆく

平澤まさえ
宮治友美枝
徳江 道子
土屋トミ子
稲垣 武子
山口 幸子
山根喜美代
安藤 慧
渡邊 唯夫
亀山 文子
村上 正度
岡元 芳子
杉本 照世
瀧本三重子

人事

◆退職

池上 貴広
願いに依り職を免ずる
平成三十年十月三十一日

◆採用

廣野真由美
千葉ひとみ
岩崎 泰央
平成三十年十一月一日

野田 千会
坂井 謙二
松井 康広
平成三十年十一月三十日



お詫び

本誌前号(第514号)にて、平成30年例祭神徳奉賛金奉賛者芳名の掲載にあたり「才戸(西)井出廣子殿 外4名 八、〇〇〇円」の記載がございますが、正しくは「才戸(西)井出廣子殿 外4名 一七、〇〇〇円」です。衷心よりお詫び申し上げますとともに、謹んで訂正致します。

寒川神社の 八方除



鬼門と裏鬼門

古来より日本では、鬼門（北東）は鬼が出入りする不吉な方向とされ、様々な災いが起こると忌み嫌われてきました。同様に、鬼門の正反対にあたる南西の方向（裏鬼門）についても、注意すべきものとして扱われてきました。四神相応の地として、地相的に最もふさわしいとされた京都の都「平安京」では、政治的・宗教的に最適な場所にするため、徹底した鬼門・裏鬼門対策がなされたといわれており、如何に「方角」を重視していたかが窺えます。

それでは、寒川神社はどうでしょうか。当神社は江戸（東京）から見て南西（坤）の地に鎮座しており、江戸（現在の皇居）の裏鬼門にあたります。また、通常社殿は南向き、もしくは東向きに建立されるのですが、当神社は南西を向いています。そのため、関八州の守護神として、また江戸の裏鬼門をお守りする神社として崇敬され、とりわけ八方除・方位除の神様として信仰されてきました。

方位学と八方除

人が行動する際、その行動には必ず「方向（方位）」が伴います。これに対して、目には見えない何かが作用し、法則性があるのではないかと、それを研究したのが「方位学」です。この方位学の研究こそが八方除と大きく関わっているのです。人はそれぞれの生年月日により「星回り」が異なる上に、時々により良い方角（吉方）と悪い方角（凶方）が発生します。人によって全く異なる方角の良し悪しをその都度見極め、失敗の恐れのない方角を選択し、健康で幸せな人生を過ごす一助とすることが最も理想であります。しかし、慌ただしい現代においては、たとえ住居・方角・運勢の良し悪しを判断できたとしても、仕事や学校の都合が優先され、なかなか思い通りにいかないのが現実であり、支配されている法則に則って生活するのは不可能に近いといえます。

広大無辺の御神徳

ここで、転ばぬ先の杖として大難は小難に、小難は無難に過ごせるよう、また悪い「気」をできる限り和らげ、良い「気」を呼び込み、日々穏やかに過ごせるように神様に祈るのが「八方除」です。

「八方除」は、地相・家相・方位・日柄などに起因する全ての悪事災難を取り除き、福德円満をもたらすとともに、如何なる状況にあっても積極的に生きていけるように導く寒川大明神の御神徳なのです。

○寒川神社の神札授與
宮國幣中社寒川神社に於ては例年の通り一月二日より古来有名なる八方除の神札を授與せらるゝ由なるが右は附近の信者のみならず遠く京濱間よりも多数の人々参詣して多きは数十体を拜戴し親族に己に配付して以て年内の凶事を去るを祈るに近年に當る者は自ら参詣して賜徳を祈り此神札を受くるを以て例とすれば明年の當日も定めし願ふべしと

明治41年12月29日号「横浜貿易新聞」に当神社の「八方除」の記事が掲載され「古来有名なる八方除の神札を授与せらるる…多数の人々参詣して…」との記述があり、100年以上前から当神社の八方除の信仰が根付いていたことが窺えます。
※横浜貿易新聞…現 神奈川新聞

PICK UP

授与品

図鑑

当神社では現在、さまざまな神符守札授与品（お札・お守り）を頒布しております。その授与品の中から、順番にいくつかの授与品をご紹介します。

今号では、初詣の際にお受けいただける「縁起物」と「お守り」の一部をご紹介します。



千支一刀彫
初穂料 2,000円



千支木彫(台座付き)
初穂料 2,000円



運氣上昇守(くすの実入)
初穂料 各800円
※限定3,000体頒布



絵馬付破魔矢
初穂料 1,500円



流鏝馬破魔矢
初穂料 各2,000円



厄難除氣守
初穂料 各500円
※12月1日より頒布中



絆守
初穂料 800円



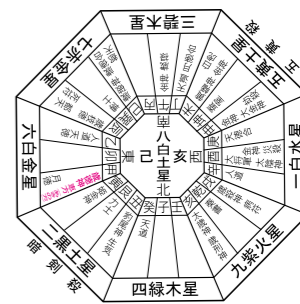
吸盤付
交通安全守
初穂料 各1,000円

授与所開設時間
毎日8:00~16:30(通常)
※正月期間中の開設時間は当神社HPにてご確認ください

《厄年一覧表》

性別	年齢(かぞえ年)	前厄	本厄	後厄
男	25歳	平成8年生	平成7年生	平成6年生
	42歳	昭和54年生	昭和53年生	昭和52年生
	61歳	昭和35年生	昭和34年生	昭和33年生
女	19歳	平成14年生	平成13年生	平成12年生
	33歳	昭和63年生	昭和62年生	昭和61年生
	37歳	昭和59年生	昭和58年生	昭和57年生

《方位吉凶早見表》



平成31己亥歳

※選暦や古希・喜寿なども厄年と考えられている場合もありますが、右記以外の年齢の方は当神社では「八方除」の御祈願をお受けいただいております。

日本の美しい 伝統文化の継承

寒川神社 奉祝

相模國一之宮

第一部 「寒川神社 田打舞」

奉祝と豊作を祈念して

毎年二月十七日に寒川神社祈年祭において奉納されている田打舞(たうちまい)を公開致します。

平成三十一年四月十三日(土)
寒川町民センター大ホール
開場十七時 開演十七時三十分

三月一日(金)午前九時三十分より社務所玄関にて三〇〇枚の入場券を先着順に配布致します

※枚数に達し次第、終了となります
※追加配布は行いません ※お一人様一枚まで
※販売は固く禁じます

第二部 「これからの子供たちに伝えたいうた」

童謡・唱歌歌手 そがみまこ

国内はもとより、日中友好として北京教育大学で公演、日韓友好・日華友好の植樹祭・日越協会が小学校を贈呈する記念式典の公演、ハワイ、シドニー、バンクーバー、パリなど世界各地に日本文化「童謡・唱歌」を届ける

田打舞とは、一人の翁が田作りから収穫までの稲作の模様を演じその年の豊作を祈る民俗芸能です。例年、御神前において祭典参列者が見守る中、奉仕されております。近年、多くの方々から鑑賞希望の要望が多く、以前から公開の機会を検討してまいりました。本年は新しい天日降下ご即位され、自然の恵みに感謝をされる大嘗祭が行われる時を最良の機会として公開を致します。

田打舞とは
生田流浄曲 吉田佳世
生田流浄曲 石垣清美
そがみまこ
ヴァイオリン 廣末貞也
作曲・編曲・ピアノ 森悠也
福山流尺八 石垣福山

主催：寒川神社 協力：寒川町教育委員会 会場：寒川町民センター

病院だより

高血圧とその治療目標について

宗教法人寒川神社寒川病院 副病院長 栗田啓司



高血圧は、脳卒中や心筋梗塞といった命にかかわる病気の重大な危険因子の一つです。高血圧は非常に多く、厚生労働省の平成26年の調査では高血圧の患者は1010万人に上るとされています。

高血圧は文字通り「血圧が高い」ということですが、どのくらいから「血圧が高い」とするのか具体的には決めておく必要があります。その決め方ですが、簡略化して言いますと、血圧が正常な人と血圧が高い人を何年間か経過を追い、どちらに病気が少ないのか、どちらが長生きなのかを見ていきます。このような研究の結果から、このくらいの血圧までは正常、このくらいからは高血圧と考えたほうが良いと決めていきます。現在は収縮期が120mmHg(以下省略)未満かつ拡張期が80未満を至適血圧、収縮期が120以上129以下または拡張期が80以上84以下を正常血圧、収縮期が130以上139以下または拡張期が85以上89以下を正常高値血圧、収縮期が140以上または拡張期が90以上を高血圧としています。

高血圧の一部には、甲状腺、副腎といった内分泌臓器の病気や腎臓の病気が隠れていることがあります。ほとんどはそのような病気がない本態性高血圧と言われます。

医療講演会のご案内

脳ドックでわかること

講師/副病院長 栗田 啓司

日時 平成31年1月28日(月) 14:00~

場所 寒川神社 参集殿

入場無料・申込不要

2月・3月の予定は寒川病院HPでご確認ください
www.samukawabyouin.com


寒川病院

来ているものです。本態性高血圧は、従来の体質と複数の生活環境が原因と考えられています。生活環境の中でよく言われているのが塩分のとりすぎです。従って治療としては塩分を減らすということが大切です。もちろんそれだけでは十分に血圧が下がらないことも多いので薬を飲んでいただくこととなります。

血圧をどのくらいまで下げたらよいのかについても、どのくらいから「高血圧」とするのかを決めた方法と同じようにして決められています。高血圧の人を2つに分けて塩分制限や薬で収縮期血圧を例えば130に下げた人と160までしか下げなかった人とを比較しどちらに病気が多いかを見ていきます。そのような研究の結果から75歳未満の方の治療目標は、診察室での血圧は収縮期が140未満、拡張期が90未満、家庭での血圧は、収縮期が135未満、拡張期が85未満とされています。この目標は75歳未満では病気がない方のもので、75歳以上や他に病気がある方の場合には目標となる血圧が異なりますので、ご自分の血圧の治療目標については主治医とよく相談していただく必要があります。

神社の素朴なぎもん!?

神社についてのなかなか聞けない素朴な疑問に、毎号少しずつお答えしていきます。できるだけ簡単な言葉でお答えしますので、ぜひお子さんと一緒にお読みください。



Q 破魔矢って何?

破魔矢とは文字通り「魔」を「破る」「矢」で、つまり魔よけの矢です。初詣の縁起物としてご存知の方も多いと思います。では、お正月の縁起物である「破魔矢」とお正月の遊びである「羽子板」に同じような意味があることはご存知でしょうか?

日本では古くから弓矢に邪気を破る力があると信じられ、弓矢で的を狙って悪いものを破る儀式が全国で行われてきました。このことを「ハマ」といったので「ハマ矢」というようになり、鬼や悪魔を破るという漢字をあてて「破魔矢」となりました。江戸時代には、男の子の初正月のお祝いとして破魔矢が贈られるようになりました。

一方、羽子板は女の子の初正月のお祝いとして贈られて

いました。羽根が飛び交う様子が「トンボが蚊を食べる様子」に似ていることから「子供が蚊に刺されて病気になるように」という願いと、「魔をはね(羽根)のける」という意味もありました。

破魔矢も羽子板もその一部に「無患子」という植物が使われており、「子供が患わないように」という願いが込められているのです。

現在、神社でお正月にお祈りしている「破魔矢」も、矢の魔よけの力を信じることから生まれた風習であり、1年間の幸せを祈ってお受けいただくものです。

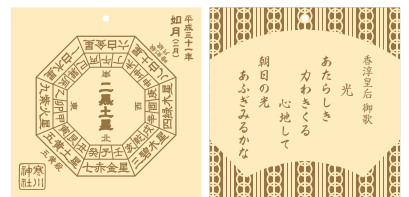
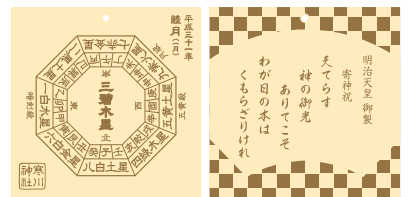
1年の始まりに破魔矢を受け、久しぶりに羽子板で遊んでみるのもいいかもしれません。



**寒川神社付近は、道路が大変混雑します
公共交通機関をご利用下さい
規制区域内での自転車通行は、ご遠慮下さい**

『木札』

月次祭にご参列された方などにお頒けする木札です



次号『相模516号』は
4月1日(月)に発行します

第515号 平成31年1月1日
発行所：寒川神社社務所
〒253-0195 神奈川県高座郡寒川町宮山3916
電話：0467(75)0004(代)
編集責任者：小野 俊之
印刷所：株式会社 さんこうどう
<http://www.samukawajinja.jp>

JR相模線 宮山駅より徒歩5分。圏央道 寒川北ICより1km。

本誌のバックナンバーは当神社HPよりダウンロードできます。

後 編 集 記

新年、明けましておめでとうございます。本年も社報「相模」をご覧いただき、ありがとうございます。当社では多くの諸行事が50年という節目を迎えてきております。50年も続く行事が今も形を変えながらも継続されていることは、氏子の皆さまの信仰心と文化の継承を思う気持ちに外ならないと思います。本年は、平成からの「御代替り」という慶事を目前に控えて、当社社をはじめとして神社界全体においてもその機運を高めていきたいと存じます。社報「相模」もその一翼を担っていただきたいと思いますので、何卒宜しくお願ひ申し上げます。(俊)